

【キューバ医療事情】

2017年5月 キューバ医療事情

下記情報は当地報道を抄訳したものです。詳しくは原文をご参照下さい。

【キューバ医療事情】

5月10日【Granma】

“サルバドル人の疫学者を教育するキューバ人専門家”

キューバ政府とエルサルバドル政府はキューバのペドロ・クリ熱帯医学研究所の専門家がエルサルバドルからの35名の専門家に対して疫学の修士課程を提供することに合意した。修士課程は2年間でスペイン国際開発協力機関からの資金提供を受ける。

5月10日【Granma】

“6万5千人以上のキューバ人患者が Heberprot-P で治療された”

キューバ遺伝子工学&生物工学センター（CIBG）の研究チームによって開発されたこの薬物は、2007年6月にサンクティ・スピリトゥ

ス県で最初に使用された。以来ほぼ10年が経過した現在、国中のキューバ人6万5千人以上が Heberprot-P の恩恵を受けている。

Heberprot-P は進行性糖尿病性足潰瘍を治療するために開発され、全症例のほぼ80%において下肢切断の危険性を著明に低下させたことが証明されており、世界で唯一の治療法である。Heberprot-P は世界の20ヶ国以上で認可されており、世界知的所有機関（World Intellectual Property Organization）から金メダルを授与されており、世界中で約25万人の方の治療に使われた。Heberprot-P が作られる以前は、進行した糖尿病下肢潰瘍で苦しんでいる患者に対して効果的な治療は存在しなかった。ハバナのリビエラホテルで5月11日～12日にかけて Heberprot-P を使った糖尿病下肢潰瘍患者の治療の包括的プログラムを拡大させる第19回国家会合が開かれている。

5月11日【DIARIO DE CUBA】

“米国医療派遣団は、キューバで手術を施行”

ノース・カロライナからの医師や看護師のグループは、患者の手術のために水曜日に来玖。来週、約40人の医師と看護師達は50件の膝と股関節置換術を行う予定。

今回の旅行は、手術歩行カロライナ・プログラムの一環で、この取り組みは、発展途上国の人々に無料の手術と治療を提供するものである。キューバには90人の患者が手術を待っている。今回、少なくとも50人～60人の関節置換術を行い、再び彼らが歩けるようにしたい。実際、キューバには非常に訓練を受けた素晴らしい医師がいるが、股関節や膝の置換術の医療資源が欠乏している。この医療派遣団の旅行の費用の大部分は、医師達自身で賄

われている。

5月15日【Granma】

“キューバ、EU-ラテンアメリカ薬物政策会議に出席”

キューバはアルゼンチンで開催された EU とラテンアメリカ間の薬物政策協力プログラムの年次総会に出席し、この問題に対処するための戦略とメカニズムに対して議論を行った。キューバ代表団には法務省の国際関係部長や外務省の多国間外交・国際法務部担当官等が参加した。

5月15日【terra】

“キューバはアルツハイマー病の進行を抑制する薬の臨床試験を行うと発表”

アルツハイマー病の患者の QOL を改善し、彼らの症状を軽減するためのより効果的な治療となるニューロエポというキューバの科学研究所で開発された薬の臨床試験をキューバは実施する。ハバナの分子免疫学センターで開発されたこの薬の試験で、早期のアルツハイマー病の患者に対して経鼻投与にて試験は行われた。実験段階では神経保護作用が認められている。ニューロエポはアルツハイマー病を予防したり、完治させるわけではない。しかし主な効果としては、アルツハイマー病で苦しんでいる患者の避けることのできない痴呆の進行を遅くすることである。アルツハイマー病は不可逆的な神経変性疾患であり、治療は変性過程を遅らせることやアルツハイマー病で苦しむ人々や彼らの家族の生活の質を改善することを意味する。

アルツハイマー病は 60 歳以降の最も一般的な神経変性疾患である。キューバでは死因の第 6 位になる。カリブ諸国における痴呆症候群の有病率は 65 歳以上で 100 人当たり 10.2 人でアルツハイマー病は最も頻度の高い疾患である。

5月17日【CUBANET】

“保健省と国家統計情報局は高血圧に焦点を当てた慢性疾患に関する調査を行う”

保健省と国家統計情報局は、キューバにおける慢性非感染性疾患の現状を把握するための調査を実施すると公表した。この研究は、主に高血圧に焦点を当て、6 歳以上の住民を対象とする。近年、キューバでは高血圧が増加しており、その要因は 60 歳以上が人口の 19.8% を占める高齢化社会である。高血圧は心臓血管疾患の主な原因であり、毎年キューバでは 3 万 5 千人以上の方が動脈や血管を含む心臓血管疾患や脳血管疾患で死亡している。2010 年に実施された第三回の全国調査では 15 歳以上の 31% が高血圧であった。キューバはカナダや米国に次ぐ高血圧患者の多い (34%~36%) 国の一つである。

5月18日【Juventud rebelde】

“2017 年キューバではチクングニヤの発生なし”

全国市民防衛本部より 2016 年から 2017 年にかけてキューバではチクングニヤの症例がなかったと報告があった。

一方、今までに 1847 例のジカウイルス感染症の症例を認めているが、感染者数は 34.2%減少してきている。ハバナでは特にレグラ地区、アロジョ・ナランホ地区、グアンタナモ、シエンフエゴス、カマグエイでは感染の大きな危険性と感染率を認める。

デングウイルス感染症に関しては、現在キューバにおいて活発な流行はなく、デングウイルス感染症や熱病は減少している。局地的な流行で 591 ヶ所の地域でデングウイルス感染症の疑い例や確定診断例が見つかっている。その 69.2%において貯水と関連している。

流行地の増加の最大の場所は、サン・クリストバル（アルテミサ県）、コロソ、ペリコ、ホベジャノス（マタンサス県）、ランチュエロ（ビジャ・クララ県）、カバイ（サンクチ・スピリトス県）、ウルバモ（オルギン県）、エル・サルバドル（グアンタナモ県）である。

コレラに関しては、2017 年 5 月までにキューバ国民の間では報告がなかった。

インフルエンザ A (H1N1)、パラインフルエンザ、インフルエンザ A (H3N2)、ライノウイルス、コロナウイルスの 5 つの呼吸器系ウイルスが現在キューバで流行している。

5 月 24 日【Granma】

“Heberprot-P は EU に到着”

Heberprot-P は国際市場で発売されて以来、20 ヶ国以上で登録されており、世界中の 25 万人の患者が治療されている。キューバ外務省の HP によるとキューバ医療専門家の代表団は 5 月 24 日スロバキアに到着した。彼らはキューバの遺伝子工学&生物工学センターによって開発された糖尿病性下肢潰瘍の治療薬である Heberprot-P の利用支援を申し出ている。

スロバキアは 10 年以上前に国際市場で Heberprot-P が販売されて以来、EU 諸国の中で最初に認可した国になるであろうことを強調した。国家医療情報センターの資料によると、EU 諸国では 8000 人の患者が、糖尿病性下肢潰瘍で苦しんでいる。今回の訪問の目的は、Heberprot-P 投与の適応患者数を調べることである。

5 月 26 日【Granma】

“キューバでは現在のところ今年に入って、41 万の献血がなされている”

キューバでは 6 月 6 日～14 日にかけて、国中の献血者に対して敬意を表して様々な活動が催されます。キューバでは今年に入り、これまでに 41 万の献血がなされた。国中での 33 万の献血による血漿や血小板が医薬品の製造に使われている。

ピナーデル・リオ県が献血に最も貢献している県として選ばれた。ピナル・デル・リオ県の 12 の市の病院は毎日献血者が訪れる。またシエンフエゴス県、オルギン県、青年の島は献血における主要な県である。

5月27日【DIARIO DE CUBA】

“キューバ保健省は2017年より電子カルテの使用を開始すると述べた”

キューバ保健省は医療研究機関で電子カルテの使用を開始すると述べた。第1レベルや第2レベルの県立病院では数年後からの開始となる。

国営企業の Softel は ETECSA と Copextel と共同でアプリケーションの開発を担当している。

電子化されたカルテは患者情報（医療予定、検査結果、X線写真）はすべてクラウドに保存され、どの医療機関からもアクセスができるようになる。

5月31日【DIARIO DE CUBA】

“キューバには百歳以上の方が2153人いる”

百歳以上の方2153人のうち1200人以上が女性で、長寿の方はハバナは例外だが、キューバの東の県に多い。保健省の発表によると百歳以上の方は、ハバナ県には303人、グランマ県に249人、サンティアゴ・デ・クーバ県に245人、オルギン県に190人いる。

次いでビジャ・クララ県183人、ラス・ツナス県150人、カマグエイ県126人、グアンタナモ県118人、ピナル・デル・リオ県109人、サンクチ・スピリトゥス県107人、マタンサス県102人、青年の島12人、アルテミサ県59人、マヤベク県59人、シエゴ・デ・アビラ県60人、シエンフエゴス県84人である。

3月のキューバの記事によるとマリア・エミリア・クエサダ・ブランコ氏が116歳で世界最長寿女性であるが、国際的には認められていない。

キューバは高齢化率の高い国であり、60歳以上の人口が220万人おり、人口の約20%である。60歳の87%以上が生存しており、次世代では90%になると予想されている。

5月31日【Granma】

“WHOはキューバのヘンリー・リープ医療部隊に対して公衆衛生賞を授与”

5月26日WHOはキューバのヘンリー・リープ医療部隊の自然災害や深刻な感染症の流行による被災者に対する治療に対して李鍾郁公衆衛生記念賞を贈呈した。

李鍾郁公衆衛生記念賞はヘンリー・リープス医療部隊のフェリックス・バエス・サリエ医師とキューバ保健大臣のロベルト・モラレスに第70回WHO総会において授与された。

危険なエボラウイルスの流行期間中にアフリカの国々に250名の医療専門家を派遣するなど、世界中の数多くの国々で行われたヘンリー・リープ国際医療部隊の災害や深刻な感染症の流行に対する業績に対してWHOの執行理事会は満場一致で受賞を決めた。